

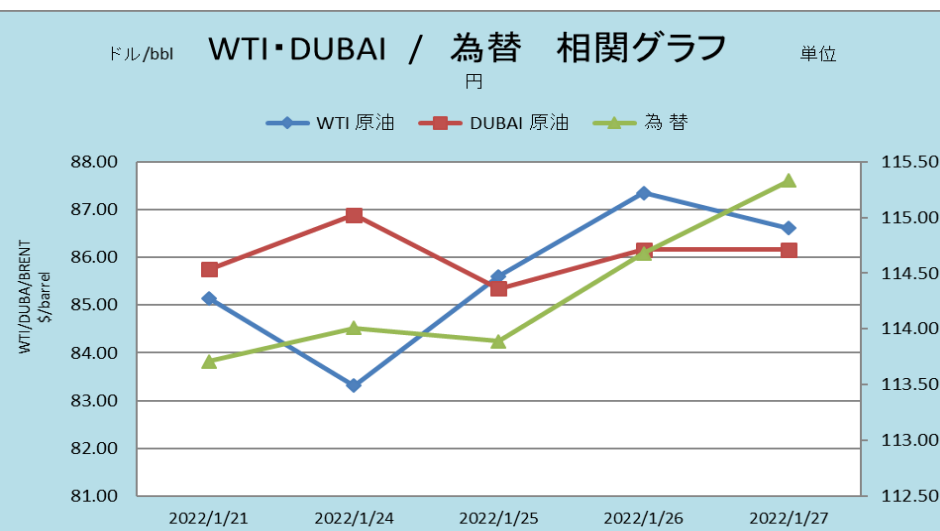
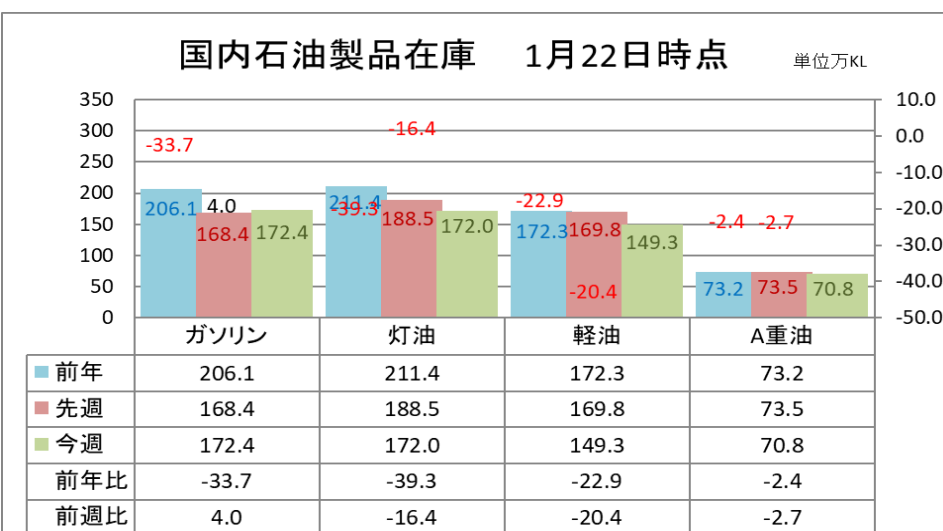
# イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/1/28作成 (株)新出光

## 【概況】<地政学リスクによる供給逼迫懸念により上伸>

- 21日、前日までの相場上昇による利益確定の動きに加え、EIAの発表で原油在庫が予想外の増加に転じ、ガソリン在庫も事前予測の2倍以上の大幅積み増しとなったことも引き続き相場の重しとなったようです。
- 24日、米早期利上げによる世界経済への影響を懸念し、この日の市場はリスク回避ムード一色となり、欧米株価が急落したほか、外国為替市場ではドルが主要通貨に対して買われ、原油先物相場には重しとなりました。
- 25日、ロシアがウクライナを侵攻した場合、米国などが対ロ制裁を発動し、ロシアが報復として欧州向けのエネルギー供給を制限する可能性があり、米政府高官は、そうした措置に対しては、北アフリカや中東、アジアからの供給を欧州に振り向ける方策も検討中と明らかにしました。そのためエネルギー供給の混乱に発展するとの警戒感が広がり、原油が買われました。
- 26日、ウクライナおよび中東情勢の悪化への警戒感がなおも相場を下支えし、米エネルギー情報局(EIA)の在庫統計によると、米原油在庫は前週比240万バレル増と、小幅の取り崩し予想(70万バレル減)に反して積み増しとなりました。ただ、相場への影響は限定的で供給逼迫懸念は根強く、再び上値を試す展開となっています。
- 27日、ウクライナ情勢をめぐるロシアと欧米諸国の緊張が深刻化すれば、有力産油国であるロシアから欧州への供給停滞が生じるとの見方が台頭し、世界全体の供給が逼迫するとの警戒感の強まりから買いが先行し、一時WTI原油で88.54ドルに上伸しました。米総務省が発表した、10-12月の実質GDPや新規失業保険申請の数値に改善がみられたことも上昇要因となりました。

1月28日 17:00現在 WTI原油 87.39ドル 為替 1ドル 115.65円



2/3~	次回元売変動予測		【製品卸価格】<激変緩和措置実施され困惑>
	激変緩和 原油コスト	対策補助金	
ガソリン	+1.0~+1.5	-3.5~-4.0	<p>《今週》今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「+2.5円」、補助金「-3.4円」の実質、「-0.9円」の値下げ改定となりました。資源エネルギー庁の公表する全国レギュラーガソリンの24日時点の小売価格の平均が170.2円となり、燃料油価格激変緩和措置が実施されることとなりました。それにより仕入れ価格が下がったディーラーによる榨消化のための販売が一層強まりました。</p> <p>《1月29日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コスト「+1.0~+1.5円」に補助金「-3.5~-4.0円」が入る予測となっています。次回の仕切り改定がいくらになるのか以前に、月内の榨消化が終えていないディーラーが多く、最後の売りとして、週末も販売が激化しました。仕入れコストは大方定まっていますが、榨消化の事だけを意識した販売が多く、玉だけ先に成約して後から価格を交渉するといった販売をするディーラーもいるなど、緊迫した販売姿勢が見られました。週明けは足元の市況から大幅なりセット値上げになると考えられます。</p>
灯油	+1.0~+1.5	-3.5~-4.0	
軽油	+1.0~+1.5	-3.5~-4.0	
A重油	+1.0~+1.5	-3.5~-4.0	
LSA	+1.0~+1.5	-3.5~-4.0	

※現段階での予想です。

## 【次世代エネルギー】<電気自動車向け新型リチウムイオン電池の開発>

パナソニックは電気自動車(EV)用の新型リチウムイオン電池「4680」の量産を2023年にも開始することを公表しました。まずはテスラ社向けに供給の予定で、その他の企業への供給も今後検討していきます。今回開発された新型電池はEVの航続距離を従来より2割程度長くでき、電池重量あたりの航続距離で世界最長水準になるとみられています。電気自動車への転換がなかなか進まない理由の一つとして、航続距離が短いことも挙げられますが、以前と比較して伸びてきており、この問題についてはかなりの進展が見られます。実際にテスラ社の現行モデルでも一回の充電の航続距離は650KL以上、新型電池を搭載すれば750KLにも伸びる可能性があります。しかし、依然電気自動車の価格が高いことや充電の所要時間の長さ、充電設備数が十分でないことなど、ガソリン車に取って代わり一般的に普及するにはまだまだもう少し時間が掛かりそうです。

[出典]

- ① <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF22DSE0S1A221C2000000/>
- ② <https://jp.techcrunch.com/2022/01/26/2022-01-24-panasonics-higher-capacity-tesla-battery-could-enter-production-in-2023/>